

# 自閉スペクトラム医師宣言

## Declaration as a Doctor on the Autism Spectrum (DDAS)

私たちは、この宣言を発表する自分自身が自閉スペクトラム(以下AS)の特性を有しており、AS上にいるすべての人々と連帯することを誇りに思います。私たちの目標は、AS上にいる人たちが、適切に理解され、必要な支援を受け、その個性を自由に発揮し、充実した生活を築くことができるようになることです。

私たちは、自らの経験を通じて、ASが少数派の単なる特性であり、その特性に対する多数派からの誤解や偏見が、本来の個性や能力を阻害してしまうことを痛感しています。そのために、私たちは自分たちの経験を活かし、AS上にいるすべての人々と連帯し、その声を強く反映させることを約束します。

「自閉スペクトラム医師宣言」の下で、私たちは次の原則に基づき、AS上の人々が自分の個性を自由に生かし、社会において充実した生活を送ることができるよう努めます。

1. 自己開示と共感: 私たちは自らの経験を率直に公言し、ASの人々との共感と理解を深めます。
2. 連帯と協力: AS上のすべての人々と連帯し、共に協力して、適切な支援を提供し、社会の理解を進めます。と同時に、多数派の人たちとの共存と連帯の懸け橋となるよう努めます。
3. 多様性の尊重: AS上の人々の多様性を尊重し、それが豊かな社会の構築の一翼を担っていることを強調します。
4. 公平な機会の確保: AS上の人々が、教育機関や職場などにおいて、公平な機会を享受できるよう、積極的に働きかけます。

この宣言は、AS上の医師たちが、自分たちの経験を踏まえ、連帯を示し、共に歩むことで、より包括的で理解ある社会の実現に尽力するという信念を表明するものです。

2024年5月25日

門 眞一郎 (ペンショナー児童精神科医, 2024.5.25)

本田 秀夫 (信州大学教授, 2024.5.25)

内山 登紀夫 (福島学院大学副学長, 2024.5.25)

青木 省三 (慈圭会精神医学研究所所長, 2024.7.6)

枝 雅俊 (道立緑ヶ丘病院副院長, 2024.7.15)

佐野 滋彦 (金沢大学附属病院子どものこころの診療科, 2024.7.19)

樋端 佑樹 (子どもと大人の精神科医, 2024.7.21)

田中 究 (兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長, 2024.9.21)

山脇 かおり (国立障害者リハビリテーションセンター病院小児科・児童精神科, 2024.10.20)

原田 謙 (長野県立こころの医療センター駒ヶ根 子どものこころ診療センター長, 2024.10.23)

原田 剛志 (パークサイドこころの発達クリニック理事長, 2024.10.24)

八木 淳子 (岩手医科大学教授, 2024.10.26)